

フューチャースクール推進事業の概要

参考資料2

ICTを使った「協働教育」等を推進するため、ICT機器を使ったネットワーク環境を構築し、学校現場における情報通信技術面を中心とした課題を抽出・分析するための実証研究を行う。

調査研究の概要

文部科学省との連携により、教育分野におけるICTの利活用を促進し、ICTを使って児童・生徒が教え合い、学び合う「協働教育」や児童・生徒一人ひとりに応じた個別教育の実現を推進するため、タブレットPCやインタラクティブ・ホワイト・ボード等のICT機器を使ったネットワーク環境を構築し、学校現場における情報通信技術面を中心とした課題を抽出・分析するための実証研究を行う。実証研究の成果については、ガイドライン(手引書)としてとりまとめ、普及展開を図る。

実証校 20校(小学校10校、中学校8校、特別支援学校2校)

- **平成22年度** から継続する東日本地域・西日本地域の実証研究請負業者と実証校(公立小学校)は以下のとおり。

地域	東日本(5校)	西日本(5校)
請負業者	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	富士通総研
小学校(10校)	石狩市立紅南小学校(北海道) 寒河江市立高松小学校(山形県) 葛飾区立本田小学校(東京都) 長野市立塩崎小学校(長野県) 内灘町立大根布小学校(石川県)	大府市立東山小学校(愛知県) 箕面市立萱野小学校(大阪府) 広島市立藤の木小学校(広島県) 東みよし町立足代小学校(徳島県) 佐賀市立西与賀小学校(佐賀県)

- **平成23年度**からは、上記の公立小学校に加えて、中学校8校、特別支援学校2校でも実施。

中学校(8校)	新地町立尚英中学校(福島県)、 国立大学法人上越教育大学附属中学校(新潟県)、 和歌山市立城東中学校(和歌山県)、 佐賀県立武雄青陵中学校(佐賀県)、	国立大学法人横浜国立大学附属横浜中学校(神奈川県)、 松阪市立三雲中学校(三重県)、 新見市立哲西中学校(岡山県)、 宮古島市立下地中学校(沖縄県)
特別支援学校(2校)	富山県立ふるさと支援学校(富山県)、	京都市立桃陽総合支援学校(京都府)

■ ICT環境の構築

- ① 学校にタブレットPC、インタラクティブ・ホワイト・ボード等ICT環境を構築
- ② 校内無線LANの整備
- ③ 家庭との連携のためのICT環境構築
- ④ 協働教育プラットフォームの構築

■ 実証研究事項

- ① ICT環境の構築に関する調査
 - ・構築に際しての課題の抽出・分析
 - ・利活用に関しての課題の抽出・分析
 - ・導入・運用に係るコスト・体制等分析
- ② ICT協働教育の実証
 - ・ICT利活用方策の分析
 - ・協働教育プラットフォームの分析
- ③ 実証結果を踏まえたICT利活用推進方策の検討



ガイドラインの策定・公表



平成22年度は、児童数や校舎の形状、地理的条件等を踏まえて、請負業者が選定した公立小学校10校(2ブロック×5校)において、民間企業2社との請負契約により実施。

平成23年度はこれに加え、自治体等との委託契約により、中学校8校・特別支援学校2校において実施。

計画年数

4年計画
(事業開始平成22年度～終了平成25年度)

所用経費

一般会計

平成24年度予定額 1,100百万円
平成23年度予算額 1,065百万円